

特別賞 青年海外協力隊福井県OB会会長賞

少年と夢

鯖江市中央中学校 三年 佐々木都和

今、世界にはアメリカや日本のような先進国とアフガニスタンやケニアのような発展途上国があります。

小学三年の秋、私は発展途上国の子供達に密着取材した番組を見ました。私はそれで大きなショックを受けました。当時の私よりも小さい男の子が鉱山で働いていました。空気が汚いので病気になる人が多く、死に至る人も少なくありませんでした。少年の父は犠牲者の一人でした。

休日の彼の楽しみは兄に勉強を教えてもらう事でした。私達が嫌々やっている

勉強を彼は、もつと！もつと！と楽しそうにしていました。彼は自分の夢は医者になって兄を治すことなんだと照れくさそうに言いました。休日が終わわり、長い道のりを裸足で仕事場へ向かいました。家族を支えるために一人で歩く少年の背中は大大きく見えました。

私は自分を恥じました。誰かのために必死に働き、勉強して明らかに大変なのに嬉しそうに笑う。そんな人がいるのに自分は何してるんだと思いました。彼は、自分がしつかりしないとだめだ。世界には貧しくても笑って頑張っている心の強い人が大勢いる。自分の周りの環境は決して当たり前ではなく、とても贅沢なことでだから感謝するべきだし、勉強をしたくてもできない子供達のためにも、自分ももっと勉強しなくては、と思わせてくれました。その少年の背中や勉強への意欲、夢について話している時の笑顔は私の心を大きく揺さぶりました。それらは六年たつても色あせずに残り、今でも私を動かす源となっています。彼のおかげで私の世界への視野はぐんっと広がりました。世界には少年のように労働を強いられる子供だけではなく、戦争で今日を生きるのに精一杯の子供達もいます。今、こうしている間にも何万という罪なき人が亡くなっています。私はそういう人々に、手を差し伸べ、ほほえみかけたいです。いつか学校の図書館で読んだマザー

テレサのような深い愛の持ち主になりたいです。

世界と日本の幸せのために必要な物。それは、何かに夢中になってる素直な子供達の笑顔だと思います。世界が幸せになるにはどうしても必要なもの、希望です。私はそれを大切にしたいです。キラキラした灯がろうそくのように一瞬で消え失せてしまうのは悲しいです。だから、我々先進国は発展途上国を助けます。利益、不利益なしで人々と温かみを感じ合うべきです。

私は、子供達の笑顔を守り、増やしていくために、彼らの夢を叶えたいです。それには環境づくりが大切になってきます。先進国の子供達と同じ様に学校に通える環境です。私は将来、青年海外協力隊に入りたいです。そのために、熱心に勉強すること。これが私が今やりたいこと、やるべきことです。一人でも多くの子供が笑顔になることを願います。